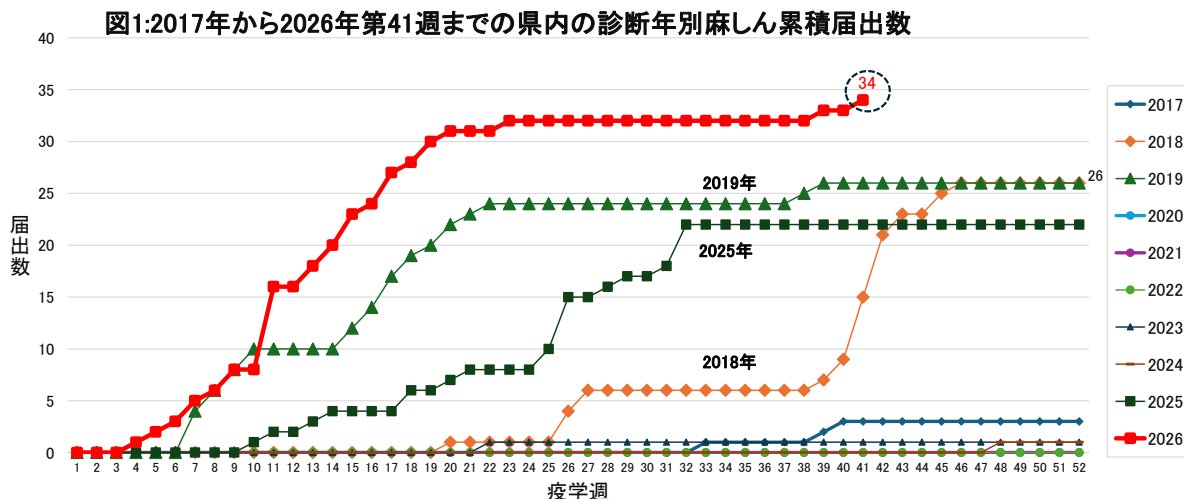


【今週の注目疾患】

《麻しん（はしか）》

2026年第41週に県内医療機関から1例の届出があり、累計は34例となった（図1）。

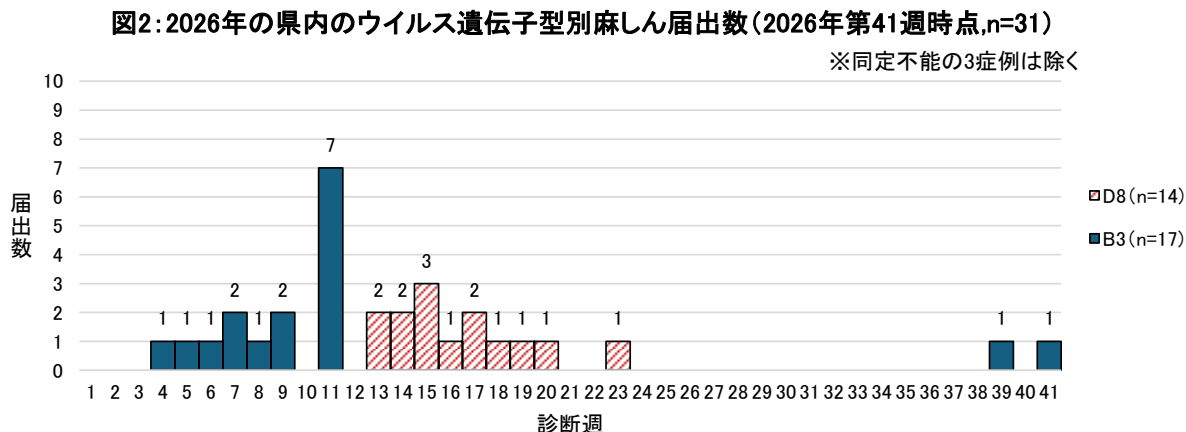
麻しんは、感染力が非常に強く、免疫を持っていない人が感染すると、ほぼ100%発症すると言われており¹⁾、引き続き発生動向に注意が必要である。



本年に県内医療機関から届出のあった34例の概要は以下のとおり。

性別は、男性21例（62%）、女性13例（38%）であった。年代は、10歳未満1例（3%）、10代10例（29%）、20代12例（35%）、30代7例（21%）、40代4例（12%）であった。ワクチン接種歴は、なし7例（21%）、1回4例（12%）、2回以上16例（47%）、不明7例（21%）であった。病型は、麻しん（検査診断例）26例（76%）、修飾麻しん（検査診断例）8例（24%）であった。推定感染地域は、国内20例（59%）、国外5例（15%）、国内又は国外2例（6%）、不明7例（21%）であった。

麻しんウイルスの遺伝子型は、判明している31例について、B3が17例（55%）、D8が14例（45%）であった（図2）。



県民のみなさまへ

第 41 週に届出があり、他の人に麻しんを感染させてしまう可能性がある期間（感染可能期間）に、不特定多数の方が利用する公共交通機関や施設等を利用していたことが判明したので、千葉市では注意喚起のために報道発表を行いました²⁾。

同じ時間帯に利用された方は、利用した日から 21 日以内（特に 10 日前後）は健康状態にご注意いただき、発熱・せき・鼻水・眼球結膜の充血・発しん等の症状が現れた場合には、事前に保健所に連絡の上、指示に従って医療機関を受診してください。受診の際は、周囲へ感染を広げないように、公共交通機関等の利用を避けてください。

麻しんの定期予防接種をまだ受けていない方は、早めに予防接種を受けましょう。

また、定期接種の対象者だけではなく、麻しんの罹患歴がなく、予防接種歴が明らかでない場合やご自身の免疫が不十分なことが判明した方は、ワクチン接種をご検討ください^{3,4)}。

■参考・引用

1)厚生労働省：麻しん（はしか）

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/measles/index.html

2)千葉市保健福祉局医療衛生部健康危機管理課：麻しん（はしか）の発生について

<https://www.city.chiba.jp/sogoseisaku/shichokoshitsu/hisho/hodo/documents/20261007-3.pdf>

3)厚生労働省：麻しん及び風しんの定期接種対象者に対する積極的な接種勧奨並びに麻しん及び風しんの任意接種に関する案内等について（依頼）

<https://www.mhlw.go.jp/content/001684748.pdf>

4)厚生労働省：麻しんの感染拡大防止に向けた国民の皆様へのメッセージ

<https://www.mhlw.go.jp/content/001695854.pdf>